

第6回福生市基本構想審議会（議事要旨）

■ 開催概要

日時	平成21年1月15日（木） 14:00～16:45		会場	第2委員会室
参加者	審議会委員	（出席） 鵜野 貴洋恵、小林 歌子、清水 貞夫、高田 ヒロ子、高橋 勉、 辻山 幸宣、濱中 供子、日野 さよ子、村山 利夫、山口 浩、 山下 真一、渡邊 一成 （敬称略、委員名簿順）		
		（欠席） 加藤 浩子、田村 利光		
	市職員	副市長、教育長、企画財政部長、企画財政部参事、総務部長、市民部長、生活環境部長、福祉部長、子ども家庭部長、教育次長、教育委員会参事、会計管理者		
事務局	企画調整課長、課長補佐、担当主査、主任、主事			

配布資料	1 福生市基本構想中間答申（案）	配布済
	2 中間答申補足資料	配布済
	3 第5回福生市基本構想審議会（議事要旨）	配布

■ 議事と要旨

1. 開会	・事務局より資料の確認
2. 会長あいさつ （村山会長）	<ul style="list-style-type: none"> ・「西多摩百景写真展」という写真コンクールを主催し7回目になるが、魅力がたくさんあることを再三認識するとともに、継続していくことの重要性を感じている。 ・福生のことを考えるほど、魅力あふれたまちであると認識しており、愛情を持って、あきらめずに基本構想を仕上げていきたい。
3. 議題	○福生市基本構想中間答申（修正案）について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より前回会議の意見を踏まえて修正した基本構想（案）について、変更箇所等の内容を各ページごとに説明。 ・委員からの主な意見（議事進行順）の要点は次のとおりである。

- ・修正案では、わかりにくい部分の改善や福生らしさの表現が加えてあり、良くなっている。
- ・継続的な発展のためには低炭素化社会への取り組みが不可欠であり、施策の大綱（まちづくりの目標）の中に「地球温暖化に対応する低炭素化都市へのまちづくり」についての文章を織り込むべきである。環境関連の市民活動の意義を高める必要がある。
- ・6 ページから第 5 章の施策の大綱の各項目の説明文の体裁において、頭の設定と締めの設定が呼応するような形にするとわかりやすくなる。
- ・3 ページの第 2 章の【福生らしさ】の福生の歴史のところで、いきなり「造り酒屋をはじめとする産業があり・・・」とあるが、時代的に流れていく表現にした方がよい。
- ・高齢者がもう少し地域の中にとけ込んでいけるような施策があるとよい。
- ・高齢者が社会の負担になっているというようなイメージを与えることがあってはいけない。

<p>3. 議題（続き）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3 ページの第 2 章の【市民とともに】で「・・・市民と行政との強い連携のもとに進めて・・・」のところに市民も行政も「迅速に対応していく」姿勢を示した方が良い。 ・7 ページの「2. 誰にも優しい安全なまちづくり」の指針の 4 つ目「利便性の高い生活空間」のところ、「人は高齢化が進むと、・・・」とあるが、高齢化だけが移動困難になる理由ではないので、修正したい。同じく「・・・生活空間が狭くなりつつ・・・」は断定がきつく、「狭くなりがち・・・」としたい。 ・「高齢者・障害者に対して」という表現が出てくるが、障害者を「障害（児）者」と修正したい。障害児をサポートしていく体制は障害者とは違うるので、意識させたい。 ・補足資料の施策項目、□義務教育には「特別支援教育」は含まれるのか。 ・いくつか文章上で検討すべき箇所がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・6 ページ上から 3 行目、「・・・より良い教育環境を求める保護者が増えている・・・」は、「より良い教育環境を市外に求める」という表現がわかりやすい。 ・同ページ 5 行目、「子育て家庭への支援が充実している福生市への信頼をさらに高める・・・」は意味が不明瞭。「子育て家庭への支援が充実していることを理解していただき、福生市への信頼をさらに高める」というふうになるのではないか。 ・同ページ 8 行目、「そのため、今以上により良い・・・」と「今以上に」と「より良い」が重なっており、意味合いから修正が必要である。 ・同ページ 10 行目、「まちづくりは、ひとづくりが大切です」は意味不明なので、「まちづくりには、・・・」の方が分かりやすい。 ・下の指針の 3 つ目、「地域を誇る福生人の育成」なのか、「地域を誇れる福生人の育成」なのかということ、その下の説明文と合わせて検討いただきたい。「福生のまちづくりを誇りに思う福生人を育む」ということではないか。 ・7 ページ上から 3 行目、「しかしながら・・・」の文章で、主語が「まちづくりでは、・・・」、「優先のまちづくりを・・・」と 2 度出てきており、後ろの方は不要と感じる。 ・同ページ 9 行目、「・・・豊かで利便性があり、さらに美しい・・・」の「さらに」の意味が、不明瞭である。 ・9 ページの下の指針の 3 つ目と 4 つ目、3 つ目にノーマライゼーションという概念が使われているが、説明には入っていない。4 つ目では説明にノーマライゼーションが出てきている。指針の趣旨を明確にすべきである。 ・10 ページ上から 9 行目、「・・・商業者自身の手による活性化の取組みのみならず、・・・」で「市民が一体となって」と言っていますが、行政の位置はなくていいかというのが気になる。「・・・行政やそこに暮らす市民も・・・」というようになるのではないか。
------------------	--

<p>3. 議題（続き）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11 ページの下の指針の 1 つ目、「市民が互いに助け合う自治力の強化」の文章に「・・・ともに、・・・」が 2 回出てくる。後ろの方は「・・・的確に提供し・・・」とかでいいのではないか。 ・ 同ページ指針の 3 つ目、「人よ地域のつながりを高める・・・」でつながりは「強める」と表現するのではないか。 ・ 12 ページ、これまでも何箇所かに出ているが、「市民参加」と「市民参画」の表現が混在している。使い分けているのであれば、統一すべきである。 ・ 4 ページの「4. 土地利用」で「・・・市内をいくつかのゾーンに分類し、・・・」とあるが、ここでは「いくつか」というように限定しないであくまでも指針ということか。 ・ 1 ページの 5 行目、「道路交通網も整備され・・・」とあるが、そんなに整備されていないのではないか。 ・ 4 ページの「2. 対象区域」で「・・・横田基地については無いことが望ましいものの・・・」と表現されている。無いことが望ましいけど、あるからしょうがないみたいな、いつもそういう言葉の表現になっているのだが、無くなることは実際あり得ないと思う。このことを書く必要があるのかどうか疑問に思う。 ・ 10 年の間には、環境が変化し、価値観も変化していく。これに対応する計画の点検と検証が必要であり、対応する表現もお願いしたい。 ・ 4 ページの「3. 将来指標」で表の前に、例えば「福生市の将来に関する〇〇指標は以下のように定めます。なおこの指標値は将来推計値であり、政策的上乘せは下位計画に委ねます。」みたいな文章を入れて誤解の無いようにすべきである。 ・ 同ページの「4. 土地利用」で基本構想としての趣旨は理解したが、基本的に目指していく方向は謳っておくべきと思う。例えば「自然は守る」、「利便性はやっぱり確保する」などの方向性は打ち出すべきで検討されたい。 ・ 6 ページの「1. 希望に満ちた明るい人づくり」も上から 4・5 行目、「・・・福生市の教育力は決して低い訳ではありません。」の表現は、言い訳はしなくて良い。ここでは教育施設が充実していて、様々な施策も行っているのもっと福生の教育として信頼を得ていくように頑張っていくような、前向きな表現にすべきである。 ・ 9 ページの「4. 安心して満ちたまちづくり」の指針の 2 番目、「安心して子どもを育てられる社会の構築」、ここに「子育てに対する不安の解消に努め・・・」とあるが、その前に「子育て環境を整え、育児不安の解消に努め」とかの表現を入れたい。 ・ 9 ページの上から 2 行目、「・・・公立福生病院の整備・・・高度医療を享受できる環境になりました。」とあるが、最終答申の時期に福生病院の環境整備がなされている見込みはどうだろうか ・ 基本構想をまとめて審議会の皆さんが「後はよろしく」というのではなく、実践行動につなげていく道筋を作っていきたい。基本構想という基本に則り、基本計画に反映されていくことになるが、その段階に少しでも関わっていきたい。基本構想は作るということが目的ではなく、具体化・実践への第一
------------------	--

3. 議題（続き）	<p>段階であり、目標倒れになってはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 ページの「第 2 章 まちづくりの基本理念と都市像」に表現を予定しているキャッチフレーズについて、委員からの提案は次のとおりである。 ・ 「福生は福生らしく」というのを掲げ、その下に小見出し的に「個性を活かし、みんなに福が生まれる元気なまちを目指します」みたいな感じ。「個性を活かし」は、一人ひとりの個性を活かすということと、まちの個性を活かす両方の意図で、「みんなで」は、住んでいる人だけではなく、福生に働きに来ている人、遊びに来ている人みんなにという意図である。「福が生まれる」は、市民会議提案にもあったように非常にいい言葉である。「元気な」は、市長が言っている元気なまち。 ・ 「考え、行動する市民が夢を実現できるまち 福生」。思考が停止してはいけない、批判ばかりする市民ではいけない。話し合いながら行動をしていく市民ならば、夢は実現できる、そんな共通認識ができると良い。 ・ 「福の生まれるまちで豊かな暮らし」。「福が生まれるまち」はとても印象深く、「豊かな暮らし」は環境も教育も全て含まれる。 ・ 各所に出てきている「住んで良かった、住み続けたい」、「福生に生まれて良かった」という言葉を使う。 ・ 「安らぎと活力のあるまち 福生」。安らぎを持ち、活力がないとだめである。少し表現を変えると「人にやさしい活力のあるまち 福生」。 ・ 環境を重視し、いきいきは活力として「いきいき環境にやさしいまち 福生」。変形して環境は住環境、教育環境など様々な環境の意味で「環境にやさしい活力のあるまち 福生」。 ・ 「安らぎ・活力・共生のまち 福生」。 ・ 「自然と人が織りなす幸せのまち 福生」。自然をまちづくりの基本に、自然の中で人々がを大切にしながら生き生きと暮らし、福が生まれるまちなので幸せなまち。 ・ 「人と地域の連携で安全・安心のまち 福生」。同じ意味で「人と人とのつながりで安全」。どうしても人が先に来る。 ・ 「福生は福生らしく」を基本に、「個性を伸ばして福を生むまち」。 ・ 「住んで良かったと思えるまち」。語感として好きである。 ・ 「響き合う」を使い「響き合い、夢を育むまち 福生」。 ・ 「福が生まれる」に愛着がある。但し「生まれる」よりも「生む」と能動的にし「福を生む FUSSA」とローマ字を使う。変形で「元気」から躍動感のある言葉を何か入れて「福を生む〇〇 FUSSA」。 ・ 「歴史と自然が調和した」を表したい。 ・ 市民一人ひとりが参加する思いから「市民参画のまちづくり 福生」。 ・ 「誰もが住んで良かった・住み続けたいと思える 福生」。 ・ 目指すところの想いは一緒でも言葉の表現では十人十色となり、まとめるには容易でない。福生のまちづくりに合致する表現にしたいので、再度宿題にして、2 案ぐらいに絞って入れるのはどうか。 ・ キャッチフレーズは、中間答申には入れず、最終答申に持ち越すこととしたい。（会長提案により各委員の賛同を得た。）
-----------	--

3. 議題（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ・以上の委員からの主な意見、提案に対する事務局等の回答は次のとおりである。 ・ご指摘いただいた箇所の表現について、確認を行いながら事務局で修正を加え、最終的に審議会正副会長でまとめて中間答申とし、委員の皆様にもお送りする。 ・また、中間答申を2月1日号広報に掲載して、2週間のパブリックコメントを実施する。
4. その他 （事務局）	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の審議会では、パブリックコメント意見への対応を検討し、最終答申としてのまとめをしていただく。 ・次回は3月2日（月）14:00～の開催。会場は後日ご案内とする。
5. 閉会	(16 : 45)

以 上